

- 問1 統計資料において、第2次産業の割合が約15パーセント、人口密度が1平方キロメートルあたり約630人と示される岡山県には、日本を代表する重化学工業の拠点があります。この拠点の名称と立地する市の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 四日市コンビナート ― 四日市市 2. 周南コンビナート ― 周南市 3. 水島コンビナート ― 倉敷市 4. 鹿島コンビナート ― 神栖市
- 問2 讃岐平野の気候的特徴と地形の関係について、季節風の性質の変化を説明した次の文の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「夏と冬の（X）は、それぞれ高い山地に遮られる。山地を越えて讃岐平野に流れ込む際には（Y）に変化するため、この地域では年間を通じて降水量が少なくなる。」 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. X：湿った風、Y：乾いた風 2. X：冷たい風、Y：湿った風 3. X：乾いた風、Y：湿った風 4. X：暖かい風、Y：激しい風
- 問3 ある統計資料において、果実産出額が497億円に達し、近隣の県や三重県などの他県と比較しても非常に高い数値を示している県があります。この県では、瀬戸内地方の温暖な気候を活かして、みかんなどの柑橘類の生産が盛んに行われています。この特徴に合致する県はどこですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 宮崎県 2. 愛媛県 3. 青森県 4. 和歌山県
- 問4 瀬戸内工業地域に含まれる岡山県倉敷市の水島地区では、大規模な埋立地に工場が集積しています。この地区において、鉄鋼業とともに中心的な役割を果たしている、原油を原料とした製品を製造する産業は何ですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. パルプ・紙工業 2. 食料品工業 3. 石油化学工業 4. 自動車工業
- 問5 四国地方の愛媛県における農業産出額の構成には、他の都道府県と比べて際立った特徴があります。統計資料において、産出額全体の約3割を占め、愛媛県が全国有数の産地として知られている品目はどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 畜産 2. 米 3. 果実 4. 野菜
- 問6 島根県の産業的特色について説明した文として、統計的な事実に基づき最も適切なものを次のうちから選んでください。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。 2. 第1次産業の就業者が半数を超えており、製造業はほとんど行われていないため製造品出荷額の統計が存在しない。 3. 観光業に特化した産業構造を持ち、第3次産業の割合が全国で最も高い一方で、県内に温泉地はほとんど存在しない。 4. 日本最大級の工業地帯を擁しているため、製造品出荷額が数十兆円に達し、第1次産業の就業者割合は極めて低い。
- 問7 1985年から2015年にかけての四国地方と他地域間の移動手段を調査した統計において、1985年には全体の一定割合を占めていた船舶の利用が減少し、代わって自動車が全体の約3分の2を占めるほどに急増しました。このような交通手段の変化をもたらした主な要因として正しいものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 格差航空路線の拡大により、人々の移動手段の大部分が航空機へ転換されたこと 2. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐために、旅客船の航行が全面的に禁止されたこと。 3. 鉄道網の高速化が進み、自家用車よりも鉄道による移動が一般的になったこと。 4. 本州と四国を結ぶ3つのルートの本州四国連絡橋が完成し、陸上交通網が整備されたこと。
- 問8 中国地方の3つの県（I、II、III）における工業産出額の統計において、県IIIは、輸送用機械工業の産出額が約3兆2663億円に達し、化学工業（約4348億円）や鉄鋼業（約1兆1893億円）と比較して圧倒的に大きな割合を占めています。この県IIIにあてはまる県名として正しいものを次のうちから選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 山口県 2. 広島県 3. 岡山県 4. 島根県
- 問9 中国地方の人口分布の特徴について述べた文として、正しいものはどれか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が高く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が低い。 2. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が低く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が高い。 3. 中国地方5県のうち、最も面積が広い島根県の人口密度が最も高く、広島県の人口密度は最も低い。 4. 中国山地に近い県ほど人口密度が高く、日本海側や瀬戸内海側の沿岸部では人口密度が低くなる。
- 問10 日本の諸地域の気候を比較した統計資料において、石川県金沢市のように冬の降水量が多い日本海側の気候や、静岡県浜松市のように夏の降水量が多い太平洋側の気候に対し、愛媛県松山市などの瀬戸内地方で見られる降水量の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
1. 冬の北西の季節風の影響を強く受けるため、12月から2月にかけての降水量が一年で最も多い。 2. 一年を通じて各月の降水量が概ね100mm前後で推移し、他の地域に比べて年間の総降水量が少ない。 3. 梅雨や台風の影響を非常に強く受けるため、夏から秋にかけての降水量が2000mmを超える。 4. 一年を通じて気温の変化が激しく、夏は雨が非常に多いが冬は全く雨が降らない。
- 問11 瀬戸内海を挟むように位置する2つの山地について、北側の中国地方に連なる山地と、南側の四国地方の中央部を走る山地の名称を正しく組み合わせたものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 北側：四国山地、南側：中国山地 2. 北側：中国山地、南側：四国山地 3. 北側：筑紫山地、南側：九州山地 4. 北側：飛騨山脈、南側：木曽山脈
- 問12 瀬戸内地方において、一年を通じて降水量が少なく、温暖な気候になる理由として、地形の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
1. 日本アルプスのような高い山脈が冷たい北風を完全に遮断し、南からの暖流の影響のみを受けるため。 2. 周囲に高い山地が全く存在せず、乾燥した大陸の空気が直接流れ込み続けるため。 3. 広大な平野が広がっているため、上昇気流が発生しにくく、雲が発達する要因が乏しいため。 4. 北の中国山地と南の四国山地に挟まれており、湿った季節風がこれらの山地で遮られるため。
- 問13 中国・四国地方にある県のうち、県域の北側が広く日本海に面しており、瀬戸内海には面していない県はどこですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 兵庫県 2. 香川県 3. 広島県 4. 鳥取県

答え合わせ・解説

問1	答え 3 水島コンビナート ― 倉敷市	岡山県の人口密度や産業構造のデータから読み取れる通り、同県は製造業が盛んな地域です。特に倉敷市の水島地区は、広大な土地と大型船が接岸できる港湾機能を活かし、石油精製や鉄鋼生産を行う「水島コンビナート」として全国的に知られています。
問2	答え 1 X：湿った風、Y：乾いた風	海を渡ってくる季節風は多くの水蒸気を含んだ「湿った風」ですが、高い山地にぶつくと斜面に沿って上昇し、雨や雪を降らせます。この過程で水分を失うため、山頂を越えて反対側の斜面を吹き降ろすときには「乾いた風」へと変化します。讃岐平野は夏と冬のいずれの季節風も山地を越えた後に到達する位置にあるため、乾燥した空気が流れ込み、降水量が抑制されます。
問3	答え 2 愛媛県	瀬戸内海に面した愛媛県は、年間を通じて温暖で晴天の日が多い気候特性を持っています。この気候を活かした果樹栽培、特にみかんをはじめとする柑橘類の生産が非常に盛んであり、統計データにおいても野菜産出額や工業出荷額と比較して、果実産出額が際立って高いという特徴があります。青森県はリンゴ、宮崎県はピーマンなどの促成栽培、和歌山県も柑橘類で有名ですが、資料の数値や瀬戸内の気候条件の説明から愛媛県を特定できます。
問4	答え 3 石油化学工業	岡山県倉敷市の水島地区には、石油化学工業や鉄鋼業などの大規模な工場が集まる「水島コンビナート」が形成されています。瀬戸内工業地域は、戦後の高度経済成長期に沿岸部の埋立地を利用して重化学工業が発達したのが特徴です。
問5	答え 3 果実	愛媛県は瀬戸内海の温暖な気候や、水はけの良い傾斜地といった自然条件を活かしたかんきつ類の栽培が非常に盛んです。そのため、農業産出額の品目別割合を見ると、全国的に高い割合を占めやすい米や野菜ではなく、果実が約30%以上に達するという、全国的にも珍しい構成になっています。
問6	答え 1 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。	島根県は、第1次産業の就業者割合が約8%と、全国平均よりも高い水準を維持しているのが大きな特徴です。製造業においては、特殊鋼や電子部品などの分野を中心に約1兆円強の出荷額を記録しています。加えて、玉造温泉や有福温泉など43箇所の温泉地といった観光資源も、地域の産業を支える重要な要素となっています。愛知県や大阪府のような大規模な重化学工業地帯とは異なる、農林水産業と製造業、観光業のバランスが取れた構造を理解することが重要です。
問7	答え 4 本州と四国を結ぶ3つのルートの本州四国連絡橋が完成し、陸上交通網が整備されたこと。	神戸・鳴門ルート、児島・坂出ルート、尾道・今治ルートという3つの本州四国連絡橋が整備されたことで、それまで船舶が中心だった四国と本州の間の交通が、自動車（自家用車、トラック、高速バス）へと大きく転換されました。これにより、天候に左右されにくい安定した輸送と、時間の短縮が可能になりました。
問8	答え 2 広島県	広島県は、自動車産業を中心とした輸送用機械工業が非常に盛んな県です。統計データにおいて輸送用機械工業の割合が突出している点は、広島県の工業の大きな特徴です。一方、山口県は石油化学コンビナートによる化学工業、島根県は特殊鋼などの生産による鉄鋼業が比較的大きな割合を占めるという違いがあります。
問9	答え 2 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が低く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が高い。	中国地方は、中国山地を境として北側の山陰と南側の瀬戸内に分かれます。瀬戸内側は、平地が広がり気候が温暖であることや、瀬戸内工業地域として産業が発達していることから、広島県や岡山県を中心に人口が集中し、人口密度が高くなっています。対して、山陰地方の鳥取県や島根県は、地形的制約や過疎化の影響もあり、人口密度が低い傾向にあります。
問10	答え 2 一年を通じて各月の降水量が概ね100mm前後で推移し、他の地域に比べて年間の総降水量が少ない。	瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置しているため、夏と冬の季節風がそれぞれの山地によって遮られます。その結果、湿った空気が入り込みにくくなり、年間を通じて晴天の日が多く、降水量が少なくなるという特徴があります。
問11	答え 2 北側：中国山地、南側：四国山地	瀬戸内海は、北側を本州の中国山地、南側を四国地方の四国山地に挟まれた地形的な特徴を持っています。中国山地はなだらかな山々が続くのが特徴であり、四国山地は険しい山地が連なっています。これら2つの山地の位置関係を把握することは、地域の気候や産業を理解する上での基礎となります。
問12	答え 4 北の中国山地と南の四国山地に挟まれており、湿った季節風がこれらの山地で遮られるため。	日本の気候は季節風の影響を大きく受けますが、瀬戸内地方は二つの山地に囲まれた盆地のような地理的条件にあります。夏の南東の季節風は四国山地に、冬の北西の季節風は中国山地にぶつかって雨や雪を降らせるため、それらを越えてくる空気は乾燥しており、瀬戸内には雨が少なくなります。
問13	答え 4 鳥取県	中国地方は中国山地を境にして、日本海側の「山陰」と瀬戸内海側の「山陽」に分けられます。広島県や兵庫県、四国地方の香川県は瀬戸内海に面していますが、鳥取県は島根県とともに山陰地方に位置し、北側は日本海に面しています。この地理的条件により、冬には北西からの季節風の影響を受けやすいという特徴があります。